

10 月 3 日(金) 【ニューデリー2025 世界パラ陸上競技選手権大会 コメント】

◆男子 1500m (T20・知的) 予選

戸田夏輝 (ND ソフト) 決勝進出

「世界選手権初出場ですごく緊張しました。明日も一生懸命走ります」

十川裕次 (オムロン太陽) 決勝進出

「ペースが遅かったなので自分から前にでた。明日もメダル目指して頑張ります。」

岩田悠希(KPMG) 決勝進出

「予選通過することができました。決勝も頑張ります。」



十川選手



岩田選手



戸田選手

◆男子 100m (T36 クラス・脳原性まひ) 決勝

松本武尊 (AC・KITA) 8 位

「頑張りました。スタートも昨日の予選よりもうまくいきました。今後は走り幅跳びを目の前において練習していきたい。開会式の旗手もしたし、今回は自分なりによく頑張ったと思う」



◆男子 400m (T13・視覚障がい) 決勝

福永凌太 (日本体育大学) 銀メダル

「予選を終えて、今の状態、予選通過タイムを見てこの決勝のプランは、前半を行きすぎずにタイムよりは勝負の方に意識して、このレース展開は自分ではできたかなと思ったがごまかしはきかなかったかなと感じた。(金メダリストが追い上げてきたことに) ラスト 50m ないところで気づいたかなと。ただ、最後、相手の選手が前にいるような感じだったが、巻き返す力が足らなかった。今シーズン最初から 400m に関しては怪我也有りうまく走れていなかった。ここまで準備はしてきたがやはりごまかしきれなかった。」



◆女子走り幅跳び(T64 クラス・義足)

中西麻耶（鶴学園クラブ）7位

「悔しいけど今シーズンはやればやるほど結果がでないシーズンだった。世界のアスリートは1本目から決める選手が勝っているので、（今日はファールが続き）そこが自分の絶対的な課題。決して安パイな跳躍はしないと思っているので、3本目もここで決めれる選手になりたいと思って跳んだジャンプがシーズンベストだった。4本目以降もそのような気持ちで跳んだ。

逃げる跳躍はしないで最後まで戦えたことは胸をはってインドから帰れると思う。」

